

会場レポート



3連休の最終日となった11月3日(月)・文化の日のサンシャインシティ 噴水広場(アルパB1)で、今年度第3回目となるTOKYO共生社会 障害理解啓発キャラバンが開催されました。ワークショップコーナー、ステージ企画、グラレコライブなど、障害理解啓発のための様々なコンテンツに、多くのお客様が足を止めて興味を示され、共生社会の実現に向け、相互理解の輪の広がりが実感できるイベントとなりました。

前半プログラム

■ワークショップコーナー

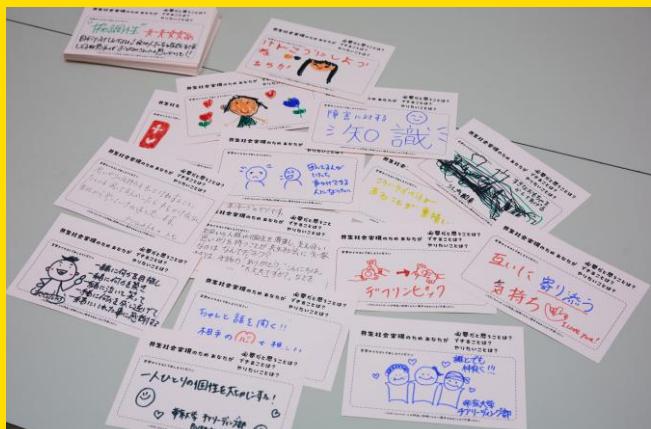


開催前のひととき、障害への理解を深めていただくために、ワークショップコーナーで点字チャレンジや弱視体験にご参加いただきました。



子供から大人まで自分の名前を懸命に搜索！慣れない視野にもがきながら、共生社会実現に向けたヒントを肌で感じるひと時となりました。

■グラレコライブ開始



毎回ご好評をいただいているグラレコライブ。今回も、出演者ははじめ、多くのお客様から様々なメッセージをいただきました。



お昼を回ったところでいよいよ、ビジュアル言語学者でクリエイターの谷川潤さんによるグラレコライブ開始！

■オープニングアクト～オープニングコーナー



オープニングは、帝京大学チアリーディング部バッファローズの皆さんによるチアリーディングパフォーマンス！



今回も全国トップクラスのパフォーマンスで会場を圧倒！手話を取り入れた独自のパフォーマンスに、ステージを取り囲む上階のお客様から多くの拍手が送られました。

■ゲストと学ぶ TOKYO共生社会クイズ



本日のスペシャルゲスト・お笑いコンビ テツandトモのお二人にご参加いただき、来場者とともにクイズ形式で障害について学ぶTOKYO共生社会クイズを行いました。



MC中島さんからの出題や解説に対し、お二人からの絶妙なコメントやギターの合いの手で、会場は大盛り上がり。共生社会について楽しみながら学ぶお客様の様子が伺えました！

■スペシャルライブ テツandトモ お笑いライブ～共生社会のなんでだらう～



テツandトモのお二人によるスペシャルライブがスタート！子供たちも壇上に上がり、おなじみの「なんでだらう」を体験。会場は朗らかな雰囲気に包まれました。



共生社会実現のための気づきになる様々な「なんでだらう」でお客様とも掛け合いながら、共生社会の輪が広がる心温まるライブとなりました。

後半プログラム

■東京2025デフリンピック開催記念!

クイズコーナー&デフ・パラ アスリートトークショー

「私たちは夫婦の絆でトップアスリートになりました」



後半のプログラムでは、ゲストアスリートとして早瀬憲太郎選手（デフ自転車）と早瀬久美選手（デフ自転車）ご夫妻の登場。テツandトモのお二人とともに、クイズコーナー&デフ・パラアスリートトークショー「私たちは夫婦の絆でトップアスリートになりました」にご参加いただきました！



クイズコーナーではデフリンピックにちなんだ手話や競技の豆知識などが出題され、いよいよ直前となった東京2025デフリンピックの開催に向け、会場の応援ムードが最高潮に達しました。

ろう児対象の国語専門学校の塾長を務め、映画監督、各種プロスポーツの手話解説者と多方面で活躍する早瀬憲太郎選手と、ろう者初の薬剤師資格を取得し、昭和医科大学病院(旧・昭和大学病院)に勤務する傍ら、スポーツファーマシストとして、デフリンピック日本選手団の医薬品管理も担当している早瀬久美選手ご夫妻に、開催直前となった東京2025デフリンピックに向けた意気込みや、アスリートとして、また人生のパートナーとしてのお互いの様々な思いを語っていただきました。苦しみは半分こ、喜びは2倍にできるという、お二人の夫婦の絆が感じられる素敵なトークショーになりました。

グラレコライブ結果発表



12:00から始まったグラレコライブは、多くのお客様から頂いたメッセージによって、イベント終了の時間までに3枚の素敵なグラレコボードが完成しました！

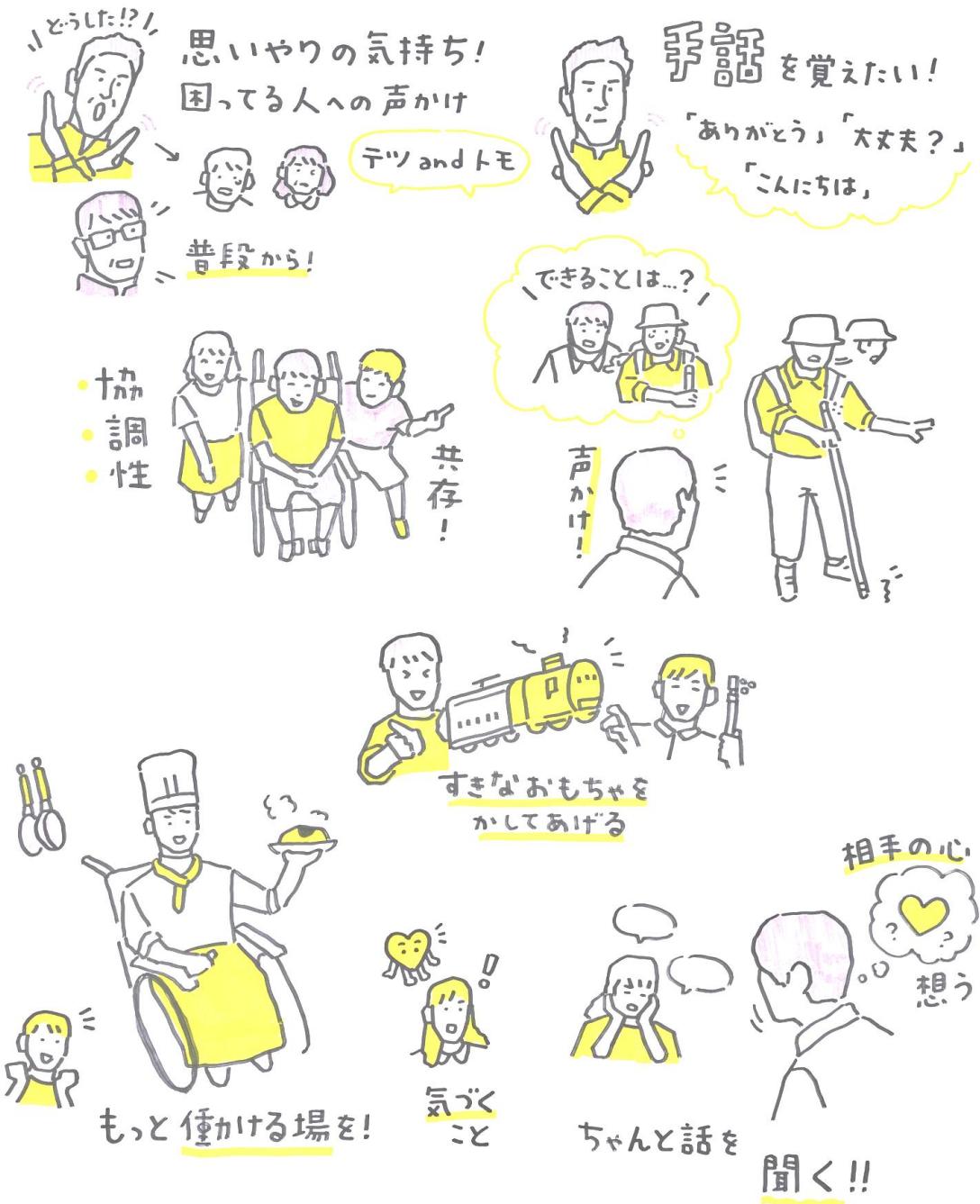
ステージ企画のかたわら、3時間にわたりグラレコを描き続けた谷川さんは、「子供たちの素直なメッセージから、小さなことからでも関わっていくことでやさしい世界を作ろうとする気持ちを感じることができました。」と本日の様子を振り返っていました。

1枚目



2枚目

共生社会実現のため あなたが
必要だと思うこと できること やりたいことは?



3枚目

